福祉用具ヒヤリハット 研修教材 (講師用)

Case: 350

移乗の際に、ベッド用グリップに近づきすぎ後方へ転倒しそうになる

場面の説明

移乗時の立位保持の位置がグリップに近すぎ、支持基底面が狭くなり、後方重心になったため後方へ転倒しそうになった。



利用シーン	移乗	
主な利用場所	寝室	
介護保険の種目	特殊寝台付属品	
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイド・レール, ベッド固定式起き上がり手すり)	
介護テクノロジー	_	
二次元バーコード		

解説

立位機能の低下した要介護者の場合、グリップとの位置関係で、支持基底面の広さが変わり、立位の安定性が変化します。移乗先のポータブルトイレや車いすの位置が近すぎると、両足の間隔が狭くなったり、グリップ寄りになり、不安定になりやすいです。適切な移乗空間を確保できるよう、車いすやポータブルトイレを置く位置は、介護者がわかりやすいようにマーキングしておきましょう。

参考要因(要因の例であり、これだけが正解ということではありません)

人:立位機能が低下していた

人:グリップに接近しすぎて支持基底面が狭くなった

モノ:移乗先の車いすやポータブルトイレの位置が前方すぎた

環境:移乗時の足元スペースがせまくなっていた

管理:マーキングできていなかった

福祉用具ヒヤリハット 研修教材(受講者用)

日付:	所属:	氏名:
Н 13 •	1 11 1 1 	10.0

Case: 350

移乗の際に、ベッド用グリップに近づきすぎ後方へ転倒しそうになる



場面の説明

移乗時の立位保持の位置がグリップに近すぎ、支持基底面が狭くなり、後方重心になったため後方へ転倒し そうになった。



どのような要因が考えられますか?	どのような対策が必要でしょうか?
人(本人・介護者・関係者)の要因	
モノ(福祉用具)の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ